

1. 科目名 (単位数)	心理学研究法特論 (2 単位)	3. 科目番号	PSMP5245
2. 授業担当教員	成本 忠正		
4. 授業形態	演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	履修条件は特になし	履修形態 (通信教育)	R
7. 講義概要	心理学の研究法について、要因計画法を核とした心理学的実証法を体系的に学び、各研究法の長所・短所を理解し、修論研究の実践で役立てる。		
8. 学習目標	心を見つめる科学としての実証的研究法を学習し、各自の研究課題に適用して考えることができる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	シラバス「14 学習の展開及び内容」の各テーマについて、まとめて発表する。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】高野陽太郎・岡隆編『心理学研究法』有斐閣 【参考書】村井潤一郎編著『心理学研究法』サイエンス社		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 学習内容の要点を自分の言葉で具体的に説明し、修論研究にそれを活かせる。 ○評定の方法 レポート 80%、討論への参加度 20% (通信教育はレポート 100%)		
12. 受講生へのメッセージ	心理学の研究の難しさを味わってほしい。		
13. オフィスアワー	授業後 3 時間		
14. 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】			
1. テーマ	科学と実証		
	【学習の目標】心理学における実証の意味が理解できる。 【学習の内容】実証の重要性、因果と説明、実証のロジックなどについて学ぶ。 【学習の課題】第 1 章をまとめる。 【学習する上での留意点】例を出して説明できるようにする。		
2. テーマ	実験と観察		
	【学習の目標】研究法を 2 分した場合の実験と観察の違いが説明できる。 【学習の内容】例として「暴力番組の影響」の研究について、また実証の論理構造について学ぶ。 【学習の課題】第 2 章をまとめる。 【学習する上での留意点】具体的に、また自身の経験から考察するようにする。		
3. テーマ	実証の手続き		
	【学習の目標】実際に簡単な実証手続きができるようになる。 【学習の内容】変数と手続きの関係、手続きの妥当性と信頼性などについて学ぶ。 【学習の課題】第 3 章をまとめる。 【学習する上での留意点】自分自身の興味あることや疑問を感じることにについて、実証的に考えてみる。		
4. テーマ	独立変数の操作 (1)		
	【学習の目標】独立変数の操作が大体できるようになる。 【学習の内容】独立変数の種類、純化と多重操作、独立変数の操作とインパクトなどについて学ぶ。 【学習の課題】第 4 章の前半をまとめる。 【学習する上での留意点】実際に自分で考えた独立変数について操作してみる。		
5. テーマ	独立変数の操作 (2)		
	【学習の目標】独立変数の操作が完全にできるようになる。 【学習の内容】手続きの標準化、妥当性などについて学ぶ。 【学習の課題】第 4 章の後半をまとめる。 【学習する上での留意点】前時の自分で考えた独立変数についてさらに深く考える。		
6. テーマ	従属変数の測定 (1)		
	【学習の目標】従属変数の様々な測定ができるようになる。 【学習の内容】従属変数の種類、測定の信頼性と妥当性などについて学ぶ。 【学習の課題】第 5 章の前半をまとめる。 【学習する上での留意点】自分の経験から種々の具体例を考えるようにする。		
7. テーマ	従属変数の測定 (2)		
	【学習の目標】従属変数の測定がいろいろと考えられる。 【学習の内容】さまざまな手続き化と選択について学ぶ。 【学習の課題】第 5 章の後半をまとめる。 【学習する上での留意点】独立変数と合わせて考えてみよう。		

8 . テ ー マ	剰余変数の統制 (1)
	<p>【学習の目標】 剰余変数の統制について理解できる。</p> <p>【学習の内容】 統制の原理、個体差変数の統制などについて学ぶ。</p> <p>【学習の課題】 第 6 章の前半をまとめる。</p> <p>【学習する上での留意点】 具体的に考えてみる。</p>
9 . テ ー マ	剰余変数の統制 (2)
	<p>【学習の目標】 剰余変数の統制ができる。</p> <p>【学習の内容】 個体内変動の統制、直接的な統制などについて学ぶ。</p> <p>【学習の課題】 第 6 章の後半をまとめる。</p> <p>【学習する上での留意点】 本テーマと創造性との関係について考えてみよう。</p>
10 . テ ー マ	さまざまな実験法 (1)
	<p>【学習の目標】 ここでのさまざまな実験法を使った簡単な実験計画が立てられる。</p> <p>【学習の内容】 実験室実験、質問紙実験、現場実験と自然実験などについて学ぶ。</p> <p>【学習の課題】 第 7 章の前半をまとめる。</p> <p>【学習する上での留意点】 仮想実験を試してみる。</p>
11 . テ ー マ	さまざまな実験法 (2)
	<p>【学習の目標】 ここでのさまざまな実験法を用いた具体例をいくつか考えられるようになる。</p> <p>【学習の内容】 準実験 (横断的比較、縦断的比較)、単一事例実験などについて学ぶ。</p> <p>【学習の課題】 第 7 章の後半をまとめる</p> <p>【学習する上での留意点】 いろいろな実験法を相互に比較する。</p>
12 . テ ー マ	調査法
	<p>【学習の目標】 よい質問紙を作成できるようになる。</p> <p>【学習の内容】 調査法の必要性、質問紙調査の実施方法、質問文の作成と尺度構成などについて学ぶ。</p> <p>【学習の課題】 第 10 章をまとめる。</p> <p>【学習する上での留意点】 調査法の長所短所、あるいは功罪を考えてみよう。</p>
13 . テ ー マ	観察法
	<p>【学習の目標】 適切に観察ができるようになる。</p> <p>【学習の内容】 観察法の必要性、種類、データ収集、結果の解釈などについて学ぶ。</p> <p>【学習の課題】 第 11 章をまとめる。</p> <p>【学習する上での留意点】 観察法はやさしいようで難しいのはなぜか、考えてみる。</p>
14 . テ ー マ	検査法
	<p>【学習の目標】 いろいろな検査法を理解する。</p> <p>【学習の内容】 検査の種類、検査の妥当性・信頼性、検査の標準化などについて学ぶ。</p> <p>【学習の課題】 第 12 章をまとめる。</p> <p>【学習する上での留意点】 これまで自分の経験した検査について、その時のことを思い出してみよう。</p>
15 . テ ー マ	面接法
	<p>【学習の目標】 よい面接と悪い面接の違いがわかる。</p> <p>【学習の内容】 面接法と言葉、面接法の種類、面接者と被面接者、データの分析などについて学ぶ。</p> <p>【学習の課題】 第 13 章をまとめる。</p> <p>【学習する上での留意点】 面接者と被面接者の経験をして、わかったことについて話し合う。</p>